

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

| | | |
|--------|----------------|--------|
| 実施主体名 | 計画の名称 | 中間目標年度 |
| 北海道帯広市 | 帯広市アイヌ施策推進地域計画 | 令和4年度 |

1. 目標の達成状況

| アイヌ施策推進地域計画における中間目標 | 目標値 A | 実績値 B | 達成率 (%) B / A | 備考 |
|---|----------|----------|------------------|----|
| ①体験交流事業の参加者数(伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業) | 64 人 | 29 人 | 45% | |
| ②帯広市の観光入込客数(アイヌ文化情報発信事業、アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業) | 334.0 万人 | 182.8 万人 | 55% | |
| ③帯広市生活館でのアイヌ文化活動等による利用者数(帯広市生活館改修事業) | 3,500 人 | 3,348 人 | 96% | |

| アイヌ施策推進地域計画における中間目標 | 達成状況 | 備考 |
|---|--|----|
| ①体験交流事業の参加者数(伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業) | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う人流の減少などにより、参加者数が減少し、目標値には届かなかった。 | |
| ②帯広市の観光入込客数(アイヌ文化情報発信事業、アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業) | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う人流の減少などにより、目標値を下回る結果となったが、観光入込客数については回復基調にある。 | |
| ③帯広市生活館でのアイヌ文化活動等による利用者数(帯広市生活館改修事業) | 概ね目標どおりの利用があったものの、新型コロナウイルスの影響に伴う文化活動等の一部自粛などにより、目標値には僅かに届かなかった。 | |

| |
|--|
| (コメント) |
| ①「体験交流事業の参加者数」については、新型コロナウイルスの影響がある中、感染対策を講じながら計画どおり各種事業を実施したが、人流の減少や募集人員の制限などにより、目標値を下回る結果となった。 |
| ②「帯広市の観光入込客数」については、新型コロナウイルスの影響がある中、人流の減少などにより、目標値を下回る結果となったが、回復基調にはある。 |
| ③「帯広市生活館でのアイヌ文化活動等による利用者数」については、新型コロナウイルスの影響で若干目標値は下回ったが、概ね目標どおりの利用があった。 |

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------------------|
| 「伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業」については、イベント等におけるアイヌ古式舞踊の披露や、伝統文化にかかる体験講座等を実施して、アイヌ文化の普及啓発を行っている。 | 特定非営利活動法人トカプチアイヌ協会 |
| 事業の効果 | |
| 「伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業」により、地域住民や帯広市を訪れた観光客に対し、アイヌ文化の理解促進を図ることができた。 | |

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| 「アイヌ文化情報発信事業」については、百年記念館、動物園、野草園のエリアを「アイヌ文化とのふれあいゾーン」に設定した。各園館の資料や生物のうちアイヌ文化と関係のあるものに QR コードを付与し、リニューアルした記念館リウカの HP でアイヌ文化との関係について詳しく読めるようにした。この仕組みを利用してゲーム的に構築した自然観察会を3回連続で実施した。また、このふれあいゾーンを紹介するリーフレットを3種類作成(うち1部は英語版)し、関係各所に配布している。 | 帯広市 |
| 事業の効果 | |
| 百年記念館リウカの HP への1日当たりアクセス数は当初20件以下だったが、6月以降徐々に増加し、その後は60～100件以上に増加するなど、アイヌ文化の理解促進を図ることができた。 | |

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|---|-------------------------|
| 「アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業」については、観光客向けの舞踊披露と帯広カムイトウウポポ保存会会員向けのワークショップを通じて、令和3年度に完成させたコンテンツ案をリバイスするとともに、団体客向けの商品プランを作成した。 | 帯広アイヌ古式舞踊等観光コンテンツ化推進協議会 |
| 事業の効果 | |
| 団体客向けの商品プランを作成したことにより、旅行会社等から舞踊披露の依頼が複数あるなど、帯広アイヌ古式舞踊の認知度向上につながった。 | |
| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
| ③「帯広市生活館改修事業」については、令和5年度からの改修に向け、 | 帯広市 |

| | |
|---|--|
| 計画どおり令和4年度に実施設計を行った。 | |
| 事業の効果 | |
| 帯広市生活館の管理運営を通じて、アイヌの人たちの生活文化の向上と社会福祉の増進に寄与することができた。また、令和4年度においては、アイヌ文化の継承者の育成と生活館のさらなる利便性向上につながるよう、生活館の改修の実施設計を行った。 | |

3. 今後の方針等

| |
|--|
| <p>(コメント)</p> <p>「伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業」については、令和5年度は人流の回復が見込まれることから、各種事業に参加しやすい環境づくりや周知方法の工夫などを行いながら、目標達成を目指していく。</p> <p>「アイヌ文化情報発信事業」については、学校教育など、ふれあいゾーンの仕組みの利用拡大を図るとともに、楽しみ方を積極的に発信していくことで、利用頻度の向上を目指していく。</p> <p>「アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業」については、新たなナイトタイムエコノミー、アドベンチャーツーリズムを見据えた観光コンテンツとして、帯広アイヌ古式舞踊をストーリー化し披露する屋外会場の設営を目指していく。</p> <p>「帯広市生活館改修事業」については、令和5年度は改修により施設の一部が利用できない期間があるが、改修後の施設の利便性等を積極的に周知することで、さらなる利活用の促進を図り、目標達成を目指していく。</p> |
|--|